

# 連携室だより



Japan Community Health care Organization SENDAI MINAMI Hospital



ジェイコー  
JCHO仙台南病院



## 〔病院の理念〕

本院は、地域社会における中核的な先進医療保健施設として、地域医療の充実と国民保健の向上に貢献します。

## 〔病院の基本方針〕

- 1.急性期医療を担う地域の中核病院として、安全かつ良質な医療を行うために適切な説明と同意に基づいたチーム医療を推進します。
- 2.地域の医療・介護福祉施設と連携を図りながら高齢者にも対応できる幅広い医療を提供します。
- 3.個人情報厳格に保護し、診療内容に関しては真実説明で対応します。
- 4.全職員が自己研鑽に励みながら一丸となって地域医療に取り組みます。

## 骨密度測定装置導入のご案内

「最新の骨密度測定装置で骨粗しょう症の早期発見を」

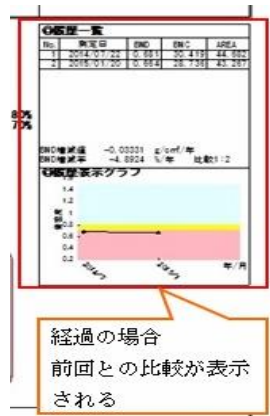
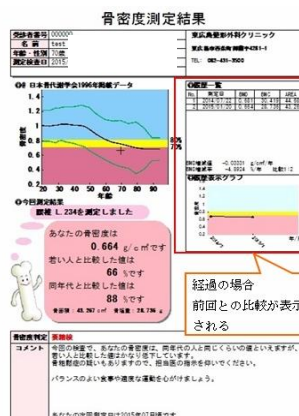


いつも当院のCT,MRI 検査をご利用いただき有難うございます。

令和5年10月に当院整形外科医からの熱い要望により骨密度測定装置が更新されました。今まで使用していた装置は、前腕で測定するタイプでしたが、今回導入された装置「米国ホロジック社製 Horizon」は腰椎と大腿骨近位部を測定できます。当然、今まで通り前腕での測定も可能です。この装置は信頼性が高く骨粗しょう症の検査が簡単・安心・高精度に行えます。骨粗しょう症は、自覚症状がなく、知らないうちに進行することがほとんどです。定期的に、骨密度検査を受けることが重要です。

今後、地域の先生方にもご利用いただけるよう、午後の時間帯での検査受託(共同利用)の準備をすすめております。検査受託に関するお問い合わせなどございましたら、直接放射線科(直通:022-306-1720)までご連絡ください。よろしくお願い申し上げます。

ホロジック社製  
Horizon





# 消防訓練を行いました



## 事務部

9月21日(木)、防火管理に係る消防計画に基づいた消防訓練を実施しました。今回の訓練は、夜間に病室から火災が発生したという想定のもと、通報、消火、避難の各訓練を一連として、職員38名にて実施しました。実際に火災が起きた際に、慌てず各自の役割を認識して行動することを目的に毎年実施しております。

通報訓練では、初期消火通報と119番通報を、警備員・事務当直者・病棟看護師等の連携により実施しました。消火訓練では、火元の初期消火を消火器と消火栓を用いて訓練しました。避難訓練では、火元出火区画から安全区域へ模擬患者を避難させ、防火扉を閉鎖するまでの訓練を実施しました。

訓練は事前に準備したシナリオに沿って実施しますので、比較的スムーズに進行しましたが、実際の火災はいつどこが出火元になるか分かりません。防火防災管理者講習の中で、燃焼の3要素という話がありました。「可燃物」、「酸素」、「熱源」が揃ったときにモノが燃えるわけですので、絶対に火災が起きないとは言えません。火災が起きた際に、人命第一に安全に避難・誘導を行い、被害を最小限に止めるためにも、日頃の消防訓練は非常に重要なイベントとなります。

今後も定期的に訓練を実施し、地域の皆様に安全・安心の医療環境を提供できるよう、職員一同日々精進してまいります。

防災管理者 松谷 秀樹



「火災報知機に、5階西病棟から  
火災発生が表示がでました！」

「只今、火災報知機が作動しました。  
火元を確認中です。」



「5階西病棟557号室から火災が発生しました。5階西病棟・5階東病棟の患者様は職員の指示に従い、慌てず東側へ避難して下さい。その他の入院患者様は、職員の指示があるまで、そのまま待機して下さい。」



## 看護部

当院では、9月21日に全部署の協力の下、火災訓練を行いました。夜間帯に病棟から火災が発生したことを想定した訓練で、最低人数の職員で自分の身を守りながらも、如何に迅速に患者の安全な避難誘導を行うか、参加した職員は声を掛け合いながら、本番さながらに訓練を行うことができました。病棟にあるストレッチャーの台数は少ないため、エアーストレッチャーや、シーツも代用しながら患者の避難誘導を行いました。患者が不安にならないよう当直医師や看護師役がリーダーシップをとり、互いに声掛けし、コミュニケーションをとりながら、行うことが重要であると再確認しました。

東日本大震災から12年が経ち、現在、副看護師長会でも災害についての取り組みを行っています。今回の訓練での反省点は多々ありますが、今後再び起こるかもしれない災害に備え、平時の時から災害について想像力をつけておくことが大事です。そして、繰り返し訓練を行うことで、患者が安心して入院生活が送れるよう、いつ起こるか分からない、火災や災害に備えていきたいと思えます。

副看護師長 石川 正恵

557号室 火事だー!!!



「落ち着いて 大丈夫ですよ。」

「東側へ避難してください。落ち着いて

行動してください。」

## NST勉強会開催

10月23日(月) 17時30分から

「体圧分散とポジショニング」と題し、特定行為研修修了看護師:山野ちず子さんとパラマウントベッド株式会社様のご協力のもと、講義・演習を行いました。褥瘡発生の2大原因「ずれ力」の講義の後に、ポジショニングの実践・体圧測定の実習などを行い、ご参加いただいた地域の医療関係者の皆様からも、大変ご講評いただきました。

(次回は来年2月開催予定です。)

※詳細決まりましたら、ご案内いたします。





## 栄養食事指導のご依頼について

記録的な猛暑の夏が過ぎ、食欲の秋を迎えて食事も果物もおいしく感じる季節となりました。また、今年はコロナの5類変更後、最初の忘年会、クリスマス、お正月を迎えます。楽しく多数で集まり会食や飲食の機会も増えそうですね。

通常、秋から冬にかけては、食事摂取量が増加し身体活動量は減る傾向にあります。日ごろから健康に気をつけている方でも体重増加や食事の偏りなどにより検査値が悪化となる方もいらっしゃいます。また、どのように食事に気を付けたら良いかわからない、日々の生活が忙しく自身の身体について振り返るきっかけがない方もいらっしゃいます。

生活習慣病への取り組みの3本柱「薬・運動・食事」の一つである「食事」について、当院では以前から管理栄養士による栄養食事指導のご依頼を承っております。

当院ホームページ、地域連携相談室から専用依頼書(診療情報提供書・栄養指導)をダウンロードしてご使用ください。ご依頼内容をご記入いただき、地域医療連携室へFAXをお願いいたします。患者さまへは1コースで月1回のペース、計3回の栄養指導を実施しております。食事内容の確認、生活に合わせた目標設定を一緒に決めて進めていきます。

結果にコミットした一例  
近隣クリニック様よりご紹介の60代女性

|          | ご紹介時データ | 栄養指導終了時(3回) | 終了半年後 |
|----------|---------|-------------|-------|
| HbA1c(%) | 8.2     | 6.7         | 6.6   |
| 体重(kg)   | 75.6    | 72.2        | 72.5  |



## 要Check! 新患 受付時間 変更のお知らせ 要Check!

12月より、新患受付時間は8時30分からとなります。  
玄関開錠は、7時45分からとなっておりますので、ご紹介の折にはご注意ください。  
同封の「外来医師担当表」をご活用ください。

### 新任医師紹介



外科医師  
野口 彩

皆様初めまして、10月より外科に赴任しました野口と申します。大学卒業後、初期研修を東北大学病院、後期研修を福島県のいわき市医療センター(旧：いわき市立総合磐城共立病院)で行いました。その後、東北大学総合外科へ入局と同時に大学院に進学しました。仙台市は大学生の頃から住んでおり、第二の故郷だと思っております。これから地域の皆様のお力になれるよう精一杯頑張ります。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

### 医師退職のお知らせ 9月30日付 外科：四條 正浩



発行: 独立行政法人 地域医療機能推進機構 仙台南病院 (JCHO 仙台南病院)  
仙台市太白区中田町字前沖 143 番地 (代表) TEL 022-306-1711 FAX 022-306-1712  
地域医療連携室(直通) TEL022-306-1740 FAX022-306-1741( 平日 8.30~17:00)